

令和3年度 第1回 霧島市ふるさと創生有識者会議

開催日時	令和3年10月13日(水) 14:00~15:30			
開催場所	国分シビックセンター 多目的ホール			
出席者	有識者	本田 泰寛 委員長、山内 昌一郎 副委員長、岩元 保代 委員、 末吉 龍一郎 委員、泉 仁志 委員、宮田 千加良 委員、鈴木 広和 委員、 外山 浩己 委員、中村 有佐 委員、林 慶藏 委員、鶴ヶ野 未央 委員、 有村 健弘 委員 (全15委員中12人が出席)		
	霧島市	商工振興課：住吉 特任課長兼企業振興室長、西村 商工観光政策G長、 勘場 主任主事 観光PR課：富久 主幹兼PR推進G長、下楠菌 主任主事 地域政策課：貴島 主幹兼中山間地域活性化G長 市民活動推進課：山口 道義高揚推進室室長兼市民環境政策・国際交流G長 保健福祉政策課：森山 主幹兼政策G長 子育て支援課：出口 子ども・子育てG長 健康増進課：上小園 主幹兼保健予防G長 農政畜産課：内村 主幹兼農林水産政策G長 建設政策課：笛田 主幹兼政策G長 教育総務課：堀ノ内 主幹兼教育政策G長		
	事務局	出口 企画部長、永山 参事兼企画政策課長、藤田 主幹兼企画政策G長、 川床 企画政策Gサブリーダー、藤山 企画政策G主任主事		
	公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
会次第 1 開会 2 市長あいさつ 3 新任委員の紹介・あいさつ 4 議事 (1) 委員長及び副委員長の選任について (2) 令和2年度末実績における霧島市ふるさと創生総合戦略の取組状況について 資料1~3 (3) 令和2年度地方創生推進交付金事業について ・創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業 資料4 ・霧島ガストロノミーと地域商社で興す「食」のムーブメント事業 資料5				

5 その他

6 閉会

議事等の概要

議事 ㊦：委員 ㊦：事務局

(1) 委員長及び副委員長の選任について

→ 【本田 泰寛 委員】が委員長に互選され、【山内 昌一郎 委員】が副委員長に指名され、それぞれ挨拶を行う。

(2) 令和2年度末実績における霧島市ふるさと創生総合戦略の取組状況について

→ 事務局から資料1～3に基づき説明。委員からの主な質疑、助言・提言等は次のとおり。

㊦ 総合戦略の内容は、素晴らしい取組であると思うが、市政全般の広い範囲に亘っているため、個々の取組の成果が見えづらく、市民に浸透していないところがある。個別に評価するには、予算や労力が多くかかると思うが、幅を狭くした評価など、今後検討していただきたい。

㊦ 総合戦略には、『「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造』と理想的なことが書いてあるが、今年の米は30kg当たり1,500円から2,000円程前年比で安くなっており、やればやるほど赤字になるような状況である。理想論として、「新規就農者を増やしたい、稼ぐ農業としたい」と言っても現実と乖離している。この状況をどのように考えているか。

㊦ 就農者の高齢化が進んでおり、担い手の確保という観点からも新規就農者を増やしたいと考え、各種支援に取り組んでいる。指摘のとおり、生産物の価格が上がりず所得が向上しない実態もあるため、施設整備に対する補助や農地の集約等に取り組み、コストの低減など、少しでも経営力が高まるよう支援していきたいと考えている。

㊦ 絵に描いた餅とならないよう、一つ一つ検証して成果を示していただきたい。

(3) 令和2年度地方創生推進交付金事業について

→ 事務局（商工振興課）から「創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業」について、資料4に基づき説明。また、事務局（観光PR課）から「霧島ガストロノミーと地域商社で興す「食」のムーブメント事業」について、資料5に基づき説明。

委員からの主な質疑、助言、提言等は次のとおり。

- ④ リノベーションまちづくり推進事業について、戦略会議の委員として参加した。それぞれでまちづくり活動を行う様々な人達が、霧島市が中心となることで、力を合わせて取り組んでいくようになったのが印象的だった。

リノベーションスクールにおいて、遊休不動産をどのように活かしていくかという議論の中で、空き家や空き店舗だけでなく公園等の公共施設の活用が議論になったので、市としてどのように関わっていくのか聞きたい。また、来年度以降の事業展開について、継続して取り組んでいくべきと考えているが、どのように考えているか。

- ⑤ 公園等の活用については、利用を希望する場所や利用形態等を確認し、所管課と利用に当たっての注意事項や周辺住民に対してどのような配慮が必要なのかなど、課題を整理していきたいと考えている。

リノベーションまちづくり推進事業は、地方創生推進交付金を活用した事業であり、令和2年度から令和4年度までの3年間を計画期間としている。まずは3年間、創業支援やまちづくり等にしっかりと取り組み、その後に繋げていきたいと考えている。

- ⑥ リノベーションまちづくり戦略会議を全7回行っているが、参加者はどのように集めていたのか。

- ⑦ 第1回と第4回については、オープン参加で自治会の班回覧で開催を案内するなど、広く周知した。第1回は、「なぜリノベーションまちづくりに取り組むのか」をテーマに機運醸成を目的として山形屋の裏で開催し、2回目以降も委員や市民の方達に参加いただき議論を進め、最後の回は、「これからの霧島を一緒につくろう」をテーマに開催した。

- ⑧ 総合戦略の多くの取組の中で結果が出ている部分もあるが、総合戦略ができた理由の根幹である「地方の人口減少に歯止めをかける」ということは、残念ながら達成していない。

推進交付金事業は、重点戦略のようなものだと思うが、ワクワクするような素晴らしい取組である。短期間では成果が出ないので、作り上げたプラットフォームを活用し、官民一体となって広げていっていただきたい。

街中のちょっとしたところに魅力的なお店ができているが、飲食店等が苦境に立つ現在の状況では、市民全体で応援していかないと事業継続が難しい面もある。社内でSNSを活用して市内の魅力的なお店を紹介する取組を行うなど、協力していきたいと考えているが、市を越えて遠くまで魅力を発信するに

は工夫が必要だと思う。

- 園 リノベーションまちづくり推進事業について、高校生等が戦略会議に参加してとてもいい刺激を受けたと聞いた。学生等がまちづくりを考えることは貴重な機会だと思うし、新規事業を考えている方にとってもいい機会になっていると思う。

個人事業者の中には、若い世代と交流する機会がない方もおり、魅力を発揮できていない事業者もある。交流の場としても機能し、霧島ならではの魅力を作る力にもなっていただきたい。

- 園 外部へのPRという点について、鹿屋市では企業誘致サポーターという制度があり、都市圏の社長等にサポーターの名刺を渡して情報発信をしている。経費も名刺代程度であるので、霧島市でも検討してはどうか。

会議資料	会次第 資料1 霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況について 資料2 霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の成果指標・KPIの現状について 資料3 令和3年度霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）関連主要事業 資料4 創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業 （令和2年度地方創生推進交付金事業効果検証シート） 資料5 霧島ガストロノミーと地域商社で興す「食」のムーブメント事業 （令和2年度地方創生推進交付金事業効果検証シート）
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------